

部・次長会議録

日時：平成 24 年 1 月 6 日（金）13：30～15：30

場所：名寄庁舎 3 階会議室

1 開 会

・昨年 12 月末の中尾副市長の勇退に伴い、（新副市長の）佐々木が進行させていただくことになった。併せて、この 1 月の人事異動により、総務部長には扇谷部長、市民部長には新たに土屋部長がメンバーとなったので、よろしくお願いします。

2 市長あいさつ

- ・改めて、新年明けましておめでとうございます。年末年始に関係なく、病院や道路除雪関係の現場は動いていた。現場職員の皆さんには感謝申し上げます。
- ・1 月から、佐々木副市長と久保副市長の新体制となった。市立大学については、久保副市長に担当してもらう他は両副市長の基本的な役割分担は変わらないが、複数部局を横断するものは決裁のあり方を工夫するなど、お互いの業務を把握し、知りうる情報の共有をお願いしたい。
- ・一昨年に庁舎の総合案内窓口を設置し、昨年 4 月には防災担当や営業戦略室を新設した。営業戦略室は、職員あげて名寄を売り込むことを象徴したものであるが、窓口案内や防災も含めて、担当部署に任せ過ぎる傾向はないか。職員の腰が重くなっていないかと危惧している。組織がそうならないために、全員で情報共有すべきなのか、研修で補うべきなのか今一度検証願いたい。
- ・1 月 23 日から市長査定が始まる。総合計画後期 5 力年の初年度予算となるが、後期計画は市民の皆さんに様々なご議論をいただいて策定したものの。その実現に向けて、現状の問題点を把握し、改善を行い、他の自治体にはない新しい事業の構築をお願いしたい。人事評価も含めて、目標があって検証し、成果がないと意味がない。総合計画を契機とし、それぞれの部門での目標を設定し、具現化していただきたい。

3 市長・副市長の動静（別紙）

教育委員会関係行事予定（別紙）

- ・市長、副市長の動静及び教育長の動静について連絡がありました。

4 協議事項・報告事項

（1） 市政への要望【No. 18～32】

- ・要望書の提出があった次の 15 件について、各担当部局から報告がありました。

No	受付番号	件名	受付年月日	要望者	担当部課
1	No. 18	行政施策に関する要望書	H23. 11. 28	名寄商工会議所会頭 木賀 義晴 他 4 名	経済部 営業戦略室
2	No. 19	1 商工会に対する平成 24 年度市町村補助金について 2 地域振興施策に係る要望について	H23. 11. 28	風連商工会会長 田中 哲男 他 2 名	経済部 営業戦略室

3	No. 20	名寄市政に関する要請書	H23. 12. 7	連合北海道名寄地区連合会 会長 小川 勇人	総務部 企画課
4	No. 21	言語障がい・難聴教育を含めた特別支援教育の支援体制の充実にに関する要望書	H23. 11. 25	名寄地区ことばときこえを育てる親の会 会長 武田 恵美	教育部 学校教育課
5	No. 22	建設事業予算の確保等に対する要望	H23. 12. 1	名寄建設業協会 会長 五十嵐 正幸 副会長 栗原 智博	建設水道部
6	No. 23	2012 年度市政に対する高齢者福祉等の要望書	H23. 12. 6	名寄地区高齢・退職者団体連合会 会長 ほか3名	健康福祉部 高齢介護課
7	No. 24	旭ヶ丘町内会からの要望について	H23. 12. 6	旭ヶ丘町内会長 斎藤 晃 他役員一同	建設水道部 土木課
8	No. 25	平成 24 年度市政執行に対する要望書	H23. 12. 19	市政クラブ・新緑風会	総務部 企画課
9	No. 26	平成 24 年度名寄市農業・農村振興施策に関する建議書	H23. 12. 2	名寄市農業委員会	経済部 農務課
10	No. 27	2012 年度自治体予算編成にむけた政策要求	H23. 12. 15	自治労名寄市職員労働組合 執行委員長 佐々木憲一	総務部 総務課
11	No. 28	2012 年度名寄市政に対する要請書	H23. 12. 21	名寄社会保障制度を考える会 実行委員会代表 長岡 康夫	総務部 企画課
12	No. 29	2012 年度名寄市予算編成と施策に対する要望書	H23. 12. 22	日本共産党名寄市委員会 委員長 川村 幸栄	総務部 企画課
13	No. 30	平成 24 年度に向けた教育関係についての要望書	H23. 12. 21	名寄市 P T A 連合会 会長 西川 准司	教育部 学校教育課
14	No. 31	名寄南小学校冬季通学路に関わる要望書	H23. 12. 26	名寄南小安心会議会長 名寄南小 P T A 会長 名寄南小学校校長	教育部 学校教育課
15	No. 32	平成 24 年度市政執行に関する要望書	H23. 12. 28	名寄市議会市民連合・ 凜風会	総務部 企画課

(2) 平成 23 年第 4 回定例会における検討事項について【建設水道部・市立大学・教育部】

・ 今後検討すべき事項として次の3項目について、各担当部局から報告がありました。

No.	件 名	担当部
1	○市有地の雪堆積利用について 市道の排雪に係る雪は、郊外地より市街地に堆積したほうが経済的ならば南広場を雪フェスティバル以降も利用したほうがいいのではないか。	建設水道部
2	○名寄市立大学活用の観光振興について 名寄市立大学には全国各地から学生が入学している。学生の力を観光振興に貸してもらえないか。 ① 行事や式典に併せて父母等への P R の取り組み ② 学生が帰省した時に名寄を P R するなどの取り組み	市立大学
3	○安全マップは夏を想定したものとなっている。 冬季の危険箇所についても考える必要があるのではないか。	教育部

5 連絡事項・その他

- (1) 平成23年度名寄市職員人事評価試行の実施について 【総務部】
 - ・人事評価制度の実施について説明がありました。
- (2) 人事希望調書について【総務部】
 - ・人事希望調書について連絡がありました。
- (3) 職員提案（予算用）の今後の対応について【総務部】
 - ・職員提案について連絡がありました。

※ゼロ予算事業提案は、行政が実施するとなると慎重になるのは理解できるが、まずやってみることを前提に考えていただきたい。次に繋がる貴重な提案なので、それぞれの担当で再検討をお願いしたい。

6 各部署の懸案事項

- ・新年度の予算編成作業にあたっては、課内の意思疎通を図って、様々な市民要望・市民ニーズを把握し、情報共有を図っていただきたい。
- ・総合計画後期基本計画がスタートするが、この間、市長は様々な団体と意見を交換してきた。まちづくり懇談会においては、高齢者世代との議論はできたが、若者世代から意見聴取が少なかったかもしれないので、総合計画の議論を通じて若者世代からの提言を一つでも反映させ、今後のまちづくりに関わっていただくよう、各部署に持ち帰って検討いただきたい。

7 閉会

与えられた仕事をこなすだけでなく、新しい仕事に挑戦していく気概がなければこれからの行政間の競争は勝ち抜けないと考えている。リスクをとらなければリターンもないというのが、競争社会の大原則である。

平成24年が、名寄市は凄いと言われる一年であるよう、職員一丸となって事業を進めていきたいので、よろしくをお願いしたい。

次回の部・次長会議は平成24年2月6日（月）8:00～10:00 開催予定

（ご案内は1月中旬ごろ内部メールにてお知らせします）